

シンポジウム

特別な支援を必要とする子どもたちに 舞踊が果たす役割と意義

主に知的な面での支援を必要とする子どもたちに、ダンスはどのように関われるのか。

子どもたちの豊かな未来に向けて、舞踊が果たす役割と意義について実践報告・協議します。



日時 平成 29 年 3 月 4 日 (土)

13:00-16:00

場所 宇都宮大学教育学部 8 号館 E 1 1

《参加費無料》

プログラム (予定) 受付 12:30-13:00

基調講演

13:00-14:00

「子どもたちの主体的な学びを共創する ICF の理念」

池本喜代正 (宇都宮大学教授)

「障害のある人達と探ったダンスのカー教えないダンス指導」

佐分利育代 (鳥取大学名誉教授)

シンポジウム

14:10-16:00

熊谷佳代 (岐阜大学教授)

佐分利育代 (鳥取大学名誉教授)

池本喜代正 (宇都宮大学教授)

茅野理子 (宇都宮大学教授)

講師プロフィール

基調講演

池本喜代正（宇都宮大学教育学部教授）

ICF(国際生活機能分類)の理念を活かして、特別支援教育の実践にいかに関活用できるかを研究している。また、障害者権利条約など国際的動向を踏まえながらインクルージョン教育を視座にして我が国の特別支援教育制度の在り方について研究している。

平成16年～18年、宇都宮大学教育学部附属特別支援学校校長併任

著書：『特別支援教育のためのICF支援シート活用ブック』、『特別支援教育からインクルーシブ教育への展望』、『特別支援教育の基礎』他



佐分利育代（鳥取大学名誉教授）

インクルーシブなダンスをテーマに、実践、研究している。障害のある人、幼児から高齢者など様々な人とダンスを楽しみ、公演も行っている。

インクルーシブダンスグループ 星のいり口 主催

平成15年4月より2期4年間、鳥取大学附属幼稚園長併任

著書：『舞踊学の現代』、『またあしたあそぼうねー幼稚園は人間力への確かな一歩』他



実践報告

熊谷佳代（岐阜大学教授）

教師教育における身体表現のための教材開発。身体表現教育において人やものとの関わりのなかで失われつつある体験を保証するために、自己を安全に表現しながら仲間と関わっていけるような教材・教具の開発と指導法を開発を行っている。今年度地域連携事業の一環として、岐阜本巣特別支援学校の生徒さんと先生たち、岐阜大学の学生さん、プロのダンサー、音楽家のコラボ作品の舞台発表を企画した。

著書：『知っておきたいスポーツ医科学』、『スポーツ学の視点』他



実践報告／コーディネーター

茅野理子（宇都宮大学教育学部教授）

実践研究（授業研究）を通して、誰でもできる指導法、やってみたい内容としての授業モデルの開発を試行している。また、コミュニケーションについて動作学的に分析することにより、指導に役立てようと試みている。

平成19年～21年、宇都宮大学教育学部附属特別支援学校校長併任

著書：『明日からトライ！ダンスの授業』、『動きの「感じ」と「気づき」を大切にしたい表現運動の授業づくり』他

